

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	リストレジデンス茅ヶ崎	階数	地上10F
建設地	茅ヶ崎市幸町6030番30	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	175 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年12月 予定	評価の実施日	2014年8月6日
敷地面積	1,199 m <sup>2</sup>	作成者	(株)デベロップデザイン
建築面積	635 m <sup>2</sup>	確認日	2014年8月7日
延床面積	4,350 m <sup>2</sup>	確認者	(株)デベロップデザイン



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 参照値 100%  
 建築物の取組み 72%  
 上記+ 以外の 72%  
 上記+ 72%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 3.0**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<b>Q1のスコア = 3.2</b> 音環境: 2.8, 温熱環境: 2.8, 光・視環境: 3.4, 空気質環境: 3.7	<b>Q2のスコア = 2.9</b> 機能性: 3.0, 耐用性: 3.0, 対応性: 2.6	<b>Q3のスコア = 2.8</b> 生物環境: 2.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 3.5

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.4**

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<b>LR1のスコア = 3.8</b> 建物の: 3.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 5.0, A: 効率的: N.	<b>LR2のスコア = 2.8</b> 水資源: 2.2, 非再生材料の: 2.7, 汚染物質: 3.6	<b>LR3のスコア = 3.4</b> 地球温暖化: 4.1, 地域環境: 3.1, 周辺環境: 3.1

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
緑地や箱庭、屋上オープンテラスに屋上緑化を設置し、エントランス脇集会室の開口を極力大きくし風を感じられる計画とした。	0
<b>Q1 室内環境</b> 複層ガラスの採用計画。	<b>Q2 サービス性能</b> 躯体は品確法における劣化対策等級3相当し、設備配管に耐用年数の長いものを採用するなど、建物の長寿命化に配慮した。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 茅ヶ崎市みどりの条例に基づく緑化計画。	<b>LR3 敷地外環境</b> 光害フェックサの過半を満たす、広告物照明がない。
<b>LR1 エネルギー</b> 潜熱回収型給湯器の採用計画。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ノンフロン断熱材を採用し、環境に配慮した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される